

平成28年度 租税教育実践例（第6学年）

登米市立上沼小学校
教諭 佐藤 秀明

- 1 単元名「わたしたちの生活と政治」
小単元名「子育て支援の願いを実現する政治」

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(2)を扱う。ここでの主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考えるようにすることである。

(2) 児童の実態（男子20名、女子13名、計33名）

税金については、社会科の学習で昔の税金について学んだり、普段の買い物でも消費税を支払ったりと児童にとって身近なものとなっている。しかし、税金の意味やその役割についてはほとんど理解してはいない。税金が、「何の目的で集められ」、「どういう目的で、どのように使われているか」ということに関しての理解は不十分である。

(3) 指導の着眼

- 児童にとって身近な公共施設の建設、地域の開発、災害復旧の取り組みなどの事例を取り上げ、この事業が住民の願いを実現する目的で行われていることを具体的に調べ、考えることが出来るようにさせる。
- 税務署の方をゲストティーチャーとして招き「租税教室」を実施することで学習の理解をさらに深める。
- ICT（ビデオ視聴等）を効果的に活用し、児童の税金に対する興味関心を高めながら、納税の義務の意識を高めていく。

3 単元の目標

- 地方公共団体の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかるとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりと考えようとする。
- 地方公共団体の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見出し、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

4 学習計画（8時間）

主な学習活動	指導上の留意点
① 児童センターの見学 ○センターのを見学し、利用者にインタビューして、わかったことを発表する。	☆インタビューカードを事前に準備させ、見学の際に活用できるようにする。
② みんなの願いと児童センター ○子ども支援施設について調べ、わかったことや疑問に思うことについて話し合い、学習問題を作る。	☆住民の役に立つ施設が、なぜ無料で利用できるのかという疑問を引き出し、学習問題につなげていく。
③ あすばるの活動 ○写真資料やあすばる所長の話を読み取り、どのような活動をしているのかを調べる。	☆子ども支援施設を利用したことがある児童には、経験した活動を想起させる。
④ 市役所の働き ○市役所を見学したり、市役所の話の話を聞いたりして、市役所の働きについて調べる。	☆「まなび方コーナー」を活用し、取材の仕方を事前指導しておく。
⑤ 市議会の働き ○集めた資料を活用して、市議会の仕事について調べる。	☆「市の政治のしくみ」の資料を読み取り、市民、市役所、市議会、国会や関係省庁の関係を捉えさせる。
⑥ 税金の働き【本時】 ○子育て支援センターを建設、運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。	☆調べる前に、建設費や運営費としてどのくらい金額がかかっているのか予想させ、その費用はどこから出ているのかを調べる意欲を高める。
⑦ 税金についてさらにくわしく知ろう ○税務署からゲストティーチャーを招いて、税金についての詳しい話を聞いたり、質問したりする。	☆ゲストティーチャーには積極的に疑問点や不思議に思ったことなどを質問させるようにする。
⑧ まとめる ○学習問題について調べたことをフローチャートに整理し、学習問題を解決する。	☆フローチャート図をもとに、学習問題を解決する。

5 本時の学習

(1) 題材名 「税金の働き」 6 / 8 時間

(2) 本時のねらい

- 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて読み取る。

(3) 学習の流れ

<p>・学習活動と予想される児童の反応</p>	<p>形態</p>	<p>○指導上の留意点</p>
<p>1 子育て支援センターを建設, 運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>子育て支援のための費用は、どこから出るのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あすばるの建設に, 1億4000万円かかっている。 ・運営には, 年間2000万円かかっている。 ・市は住民や会社から集めた税金や国からの補助金を使って事業を行っている。 	<p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○調べる前に, 建設費や運営費としてどのくらいの金額がかかっているのか予想させ, その費用はどこから出ているのかを調べる意欲を高める。 ○運営費が約2000万円なのに対して, 利用する人からはほとんどお金が払われないことを捉えさせる。 ○運営費になるお金のもとがどこにあるのかを資料から読み取らせる。
<p>2 税金の集められ方と使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を買ったときに税金がかかる。 ・市区町村に住んでいる人, 土地や建物を持っている人から集めている。 ・警察や消防, 道路や橋の建設に使われている。 	<p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちも知らない間に納税を体験していることに気付かせ, 税金をより身近なものとして捉えられるようにする。 ○消防や警察, ごみの処理の仕事など3・4年生の学習と関連付けて税金の使われ方を具体的に考えさせる。
<p>3 税金がなかったらどうなるのかを考え, 税金の役割について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事になっても消防自動車が来れなくて, 火が消せない。 ・ごみを回収する人がいなくなり, 町にごみがあふれてしまう。 	<p>ペア グループ 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめペアで, 次にグループで話し合わせ, 最後に全体での発表につなげる。

(4) 評価

- 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて, 資料を活用して, 必要な情報を集めて読み取ることができたか。